

令和6年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市さわらびの湯		
施設所在地		飯能市大字下名栗685番地		
指定期間		令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで （ 5 年間 ）		
施設の設置目的		都市と山村の交流と共に市民福祉の増進を図る		
指定管理者	団体名	名栗さわらびの湯共同事業体		
	代表者	代表団体Fun Space株式会社 代表取締役 鈴木 茂		
	所在地	飯能市大字中藤下郷623番地3		
担当部課	部	環境経済部	課	観光・エコツーリズム課
	TEL	042-973-2111	内線	636
	E-mail	kanko@city.hanno.lg.jp		

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	S	管理責任者の配置など責任体制が明確化されています。また、個人の担当する業務のみに限らず、様々な業務に対応できるよう従業員の教育をされています。 施設の老朽化が進む中、各種の保守点検、清掃業務、修繕を適切に行っており、機器トラブルによる臨時閉館は年間で2時間と最小限に抑えることができました。ペレットボイラーを活用するなどSDGsを意識し省エネと経費節減にも取り組んでいます。
(2) 利用者サービスに関する業務	S	今年度はさわらびの湯開設30年の感謝を込めた市民向けの割引を実施したほか、季節ごとのイベントでお客様を楽しませる取り組みがされました。徹底した館内清掃は、顧客満足度調査でもお客様から評価されました。ヤマノススメグッズの販売など物販の強化も売上増として結果がでており、前年度に引き続き良好な利用者サービスが提供できています。
(3) 収支状況	A	支出については予算額よりも抑えられており、努力が認められます。物産販売も予算額を超えており評価できます。しかしながら今年度の収支は市からの指定管理料を得ることで黒字化を達成したものの、更なる収益アップが望まれます。
総 合 評 価	S	利用者アンケートや顧客満足度調査からは、清潔で快適な空間づくりが評価されています。また、常にお客様視点でのサービス提供がなされていることが確認できます。施設の老朽化が進み、施設維持は年々難しくなっておりますが、自社での清掃・点検と迅速な修繕により、通年を通して適正な運営ができています。さわらびの湯は地域や周辺施設との連携にも大変積極的であり、観光のみならず地域活性化においても名栗エリアの拠点として機能することができています。

3 今後における業務改善の方向性

利用者数は7万人台を維持したものの、コロナ禍以降微減傾向が続いています。一方で物価高騰や人件費のベースアップ等により、支出金額は今後も上昇することは避けがたい状況です。ノーラ名栗を含め、近隣施設や地域と連携した事業展開による効果的な宣伝や物販の強化など、更なる利用者確保の方策や収入増を期待します。施設の老朽化に対しては、適切な維持管理及び早期の修繕により施設の長寿命化に努めてください。

令和6年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		農林産物加工直売所	
施設所在地		飯能市大字下名栗607-1	
指定期間		令和 2 年度 ～ 令和 6 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		農林産物の加工及び販売の場を提供するとともに、観光的視点を取り入れた、地域の自然とふれあい、人々が交流し、及び北欧の雰囲気を感じることができる空間を提供することにより、農林業の振興と地域の活性化を図る	
指定管理者	団体名	株式会社Wonder Wanderers	
	代表者	代表取締役 須藤 玲央奈	
	所在地	東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス2階	
担当部課	部	農林部	課 農業振興課
	TEL	042-973-2111	内線 601
	E-mail	noshin@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	B	日常管理業務のマニュアル化や、閑散期などのアイドルタイムによる施設整備や部分修繕等の実施により効率的な運営につなげることができ、ほとんどの評価項目において良好であったが、緊急時に、市からの連絡が繋がらない状況があり、この項目において、標準を下回る評価と言わざるを得ない。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	施設内の衛生管理や設備、備品の保安全管理の徹底により、利用者の安心安全の確保に努めた。また、利用者からの意見や要望を反映し、カフェメニューや加工品の開発に取り組むなど利用者サービスの向上を図った。
(3) 収支状況	B	施設設備や備品の保守作業を行うことで、例年と同様に備品・消耗品や修繕費など縮減に努めた一方、物価高騰等の影響で、人件費や水道光熱費等は増加がみられた。収入については、競合施設の増加や著しい天候不順や酷暑による利用者数の減少により計画を下回る状況であった。外部要因の影響が大きいとは言え、年度途中で運営の見直しや例年と違った何らかの改善策を試みるということがみられず、結果的に大きな赤字となった。
総 合 評 価	B	「名栗ほたる鑑賞の集い」や「名栗ふるさとまつり」の会場として利用され、名栗地域の賑わいの創出と交流拠点としての機能を果たしている。収支については、改善を図るべき状況であることから、利用者ニーズの把握に努めるとともに、競合施設と差別化されたサービスを提供する等、売上、利用者数を増やす工夫を講じる必要がある。また、協定等の遵守や緊急時など必要な時に確実に連絡が取れる体制を整えることは必要最低限である。

3 今後における業務改善の方向性

- ・安心安全な管理運営に努めること。
- ・アウトドアブームが落ち着きを見せる中、常に注目を集める施設となるよう新しいことにチャレンジしていくこと。
- ・地域住民に愛される施設となるよう、地域を巻き込んだ事業展開を積極的に図ること。

令和6年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		ふれあい農園施設		
施設所在地		飯能市大字井上54番地2		
指定期間		令和 3 年度 ～ 令和 7 年度 まで (5 年間)		
施設の設置目的		本市の農業の振興を図るとともに、市民に憩いとふれあいの場を提供することにより市民の福祉の増進に寄与することを目的とする。		
指定管理者	団体名	株式会社平栗園		
	代表者	廣田 祐子		
	所在地	飯能市大字井上54番地2		
担当部課	部	農林部	課	農業振興課
	TEL	042-973-2111	内線	601
	E-mail	noshin@city.hanno.lg.jp		

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	整理整頓や清掃、植栽管理をきめ細かく行うなど、施設管理については、適切な対応がされている。人手が不足している状況であるが、作業工程のマニュアル化や業務プロセスの見直しにより、効率的な運営が行われている。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	季節の素材を活かしたメニューの提供や栗まんじゅうをはじめとする新商品の開発等に力を注ぐとともに、SNSやホームページ等を利用したPR活動を積極的に行うことで、利用者サービス向上を図った。一方で、民間事業者ならではの創意工夫を用いて、味噌加工室の有料利用者の更なる増加を図りたい。
(3) 収支状況	A	物価高騰の影響を大きく受け、年間収支は、約400万円の赤字となったが、食材の在庫管理の強化や材料費削減のために仕入先の切り替えなどを行う等、できる限りの経費の縮減に努めた。また、経営努力により、収入の約75%を自主事業による収入で賄っている。
総 合 評 価	A	施設周辺に隣接する農地一帯を栗・ブルーベリーの農園として借用し、地域農業の推進に努めている。また、地域のイベントへの参加や観光協会と連携したエコツアーを開催するとともに、高齢化等で管理が難しくなった地域の栗畑の管理を担うなど、地域密着型の施設としての役割を果たしている。

3 今後における業務改善の方向性

- ・経年劣化がみられる施設のため適切な維持管理を着実に実施すること。
- ・引き続き、地域を巻き込んだ取組を実践すること。

令和6年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市林業センター		
施設所在地		飯能市大字阿須343番地の1		
指定期間		令和 3 年度 ～ 令和 7 年度 まで （ 5 年間 ）		
施設の設置目的		本市の林業の振興を図るための拠点施設		
指定管理者	団体名	西川広域森林組合		
	代表者	代表理事組合長 木崎 秀尚		
	所在地	飯能市大字阿須343番地の1		
担当部課	部	農林部	課	森林づくり課
	TEL	042-978-5061	内線	609
	E-mail	norin2@city.hanno.lg.jp		

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	施設内は清掃が行き届き、整理整頓され、管理運営は適切に実施されていた。また、施設の老朽化に伴い修繕が必要な箇所は迅速に対処していた。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	日頃から利用者に対して丁寧な説明を心がけ、安心できる環境を提供していた。また、木育事業4年目となる本年度は、各保育園にチラシを配布する等、集客に努め、参加者数は昨年度のおよそ2倍であった。事業内容はジャングルジムの組立や解体など木工事業を増加し、昨年度よりもさらなる内容の充実を図っていた。
(3) 収支状況	A	施設の管理費用削減に努めるため、職員自らが施設の修繕や植木の手入れを行っていた。また、消耗品費の内容を見直し、管理経費を削減するとともに、環境に配慮した業務を実施していた。施設が老朽化する中、優先順位を決めて予算の範囲内で適切に管理を行っていた。
総 合 評 価	A	木育事業4年目となる本年度は、参加者数が昨年度のおよそ2倍であったことや木工事業を増加しさらなる内容の充実を図ったことなど、利用者の増加、サービスの充実に尽力していたことは多いに評価できる。今後も、本市の林業の振興を図るための拠点施設としての機能を十分に発揮することを期待する。

3 今後における業務改善の方向性

指定管理者の自主事業として、令和3年度から実施している木育事業は、内容が充実し、参加者も増加しており、評価できる。しかしながら、林業センターは、産業としての林業の振興の拠点施設であることから、林業従事者に対しての情報発信、知識や技能の向上の機会の創出、地域の方々の森林・林業に関する相談のさらなる充実等、幅広く対応してもらいたい。

令和6年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		総合福祉センター（管理）		
施設所在地		飯能市大字双柳371番地の13		
指定期間		令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで （ 5 年間 ）		
施設の設置目的		老人福祉センター、身体障害者福祉センター、児童センターの各施設において、老人、障害者、児童に対して各種サービスを提供し、健康で明るい生活の向上に寄与するため。		
指定管理者	団体名	社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会		
	代表者	会長 新井 重治		
	所在地	飯能市大字双柳371番地の13		
担当部課	部	福祉部	課	地域福祉課
	TEL	042-973-2111	内線	161
	E-mail	chifuku@city.hanno.lg.jp		

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	指定管理業務仕様書に沿った適切な管理が行われている。施設の日常点検や危機管理マニュアルの作成、防災避難訓練の実施など、利用者の安心につながる施設運営に努めた。また、懸案事項であった外壁の打診検査の実施、2階内壁の修繕など、適切な施設管理に努めた。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	市民の交流の場としての機能を果たすべく、可能な限り諸事業を実施したことで、利用者の増加に繋がっている。また、利用者に対し相談機能を意識しながらの対応に努め、社会福祉協議会ならではのサービス提供が実現されている。
(3) 収支状況	A	光熱費をはじめとする運営コストの高騰が続く中、時間帯による照明の使用抑制等を行うなど、適正支出に努めた。また、軽微な修繕については職員で対応し、施設の維持管理費の削減が図られている。一方、時間外の増加や人件費の上昇等により、予算の補正に関する覚書を締結するに至った。
総 合 評 価	A	利用者が安心して利用できるよう、積極的な取組がなされている。引き続き保守点検や修繕等により、施設の維持管理に取り組むとともに、利用者と良好な関係を築き、地域福祉の拠点としての機能を十分に発揮することを期待する。

3 今後における業務改善の方向性

施設の竣工後35年以上が経過し、経年劣化による建物・設備の不備・不調が懸念されることから、これまで以上に日常点検に配慮し、安全に安心して利用できる施設であり続けられるよう努めること。また、社会情勢の変化により物価が高騰するなど経費の増大が見込まれることから、引き続き経費の削減に向けた創意工夫に努めること。

教育センターとの複合化等により、利用状況の把握等に関して、早急に対応いただいた。今後、貸室の減少となることから、今まで以上に部屋の利用の最適化を目指していくこと。

適切な人員配置や事務分担、経営的、人的マネジメントを行うことに努めること。

令和6年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市総合福祉センター（身体障害者センター）		
施設所在地		飯能市大字双柳371－13		
指定期間		令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで （ 5 年間 ）		
施設の設置目的		身体障害者の自立と社会経済活動への参加を促進するため。		
指定管理者	団体名	社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会		
	代表者	会長 新井 重治		
	所在地	飯能市大字双柳371－13		
担当部課	部	福祉部	課	障害福祉課
	TEL	042-973-2111	内線	170
	E-mail	syoufuku@city.hanno.lg.jp		

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	職員の行動基準に基づき、人員配置、危機管理体制、個人情報保護、防災訓練、施設管理が行われている。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	残念ながら利用者は減少したが、手話奉仕員養成講座修了者の中で県主催の手話通訳者養成講習会に2名の方が合格したことは大きく評価ができる。
(3) 収支状況	A	物価高騰が続いているが、指定管理料の範囲内で適切な執行管理が行われている。精算項目にはない事業実施に伴う不要額について協議を行い、精算処理がなされたことも評価できる。
総 合 評 価	A	手話通訳者養成研修に合格するよう、長きにわたり様々な方法を検討し、また、関係団体との調整に努められたことに対し改めて感謝を申し上げたい。

3 今後における業務改善の方向性

教育センターの移転による影響が避けられない中、利用者に負担がかからないよう配慮をお願いしたい。また、この機会に他市の例を参考に、既存事業や決まりの見直し、新たな取組みにより、利便性の向上や利用者増につなげてほしい。

一方、長年にわたる手話奉仕員養成講座が実を結び、通訳者養成講座に進むことができたことを踏まえ、今後も長期的な視点に立った事業の取組みもお願いしたい。また、地域活動支援事業の利用者についても、引き続き、利用者の現状に適した事業の内容を検討してほしい。

令和6年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市総合福祉センター（飯能市老人福祉センター）		
施設所在地		飯能市大字双柳371番地の13		
指定期間		令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで （ 5 年間 ）		
施設の設置目的		高齢者に対して各種のサービスを提供し、健康で明るい生活の向上に寄与するため。		
指定管理者	団体名	社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会		
	代表者	新井 重治		
	所在地	飯能市大字双柳371番地13		
担当部課	部	福祉部	課	介護福祉課
	TEL	042-973-2111	内線	189
	E-mail	shien@city.hanno.lg.jp		

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	定められた業務が適切に行われている。新規利用者の増加に資する事業も定期的に開催しており、今後も継続して実施していただきたい。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	カラオケや囲碁将棋等の個人利用の増加はあまりみられなかったが、毎日のように来られるリピーターは増加している。今後も利用者が増加するように周知や魅力ある事業の実施に努めていただきたい。
(3) 収支状況	A	物価の高騰等に伴い、支出が増えているが、昨年度と比較して水道代の支出が削減できた。今後も事業の開催、施設の運営に影響のない範囲で経費の削減に努めていただきたい。
総 合 評 価	A	利用者へのサービスについては、安全かつ適切に提供されている。令和6年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに、事業が実施され、高齢者の健康で明るい生活の寄与に努めていただいている。

3 今後における業務改善の方向性

事業の実施を概ね計画どおりに実施していただいている。高齢化率が上昇する中で、事業の開催による高齢者への教養の向上や生きがいづくりは今後も必要であるものとする。引き続き、高齢者の健康増進のため、施設の運営に努めていただきたい。
--

令和6年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		総合福祉センター（児童センター）		
施設所在地		飯能市大字双柳371番地の13		
指定期間		令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで （ 5 年間 ）		
施設の設置目的		児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的としている。		
指定管理者	団体名	社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会		
	代表者	会長 新井 重治		
	所在地	飯能市大字双柳371番地13		
担当部課	部	こども支援部	課	こども施設課
	TEL	042-973-2111	内線	415
	E-mail	kodomoshisetsu@city.hanno.lg.jp		

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	・業務仕様書に定められた資格を有する者の人員配置がされ、責任者を中心とした管理執行体制を整えている。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	・職員の資質向上を図り、利用者サービスの向上に取り組んでいる。 ・利用者への丁寧な対応により、児童や保護者が安心して施設利用できる環境を整えている。
(3) 収支状況	A	・節電や職員による修繕の実施などの工夫で、効率的な管理運営に継続して取り組んでいる。
総 合 評 価	A	・利用者の安心安全を第一に考え、施設美化にも取り組むなど、良好な施設環境を整えている。 ・多様な情報発信や、児童の居場所機能の向上などにより、利用者の増加に取り組んでいる。

3 今後における業務改善の方向性

- ・アンケートの実施等により利用者ニーズや実態の把握に努め、更なる児童の健全育成に向けた事業を実施すること。
- ・常に利用者目線に立ち、放課後児童や中高生の安心できる身近な居場所づくりに引き続き取り組むこと。
- ・子育て家庭や中高生、他の地域の児童に対しても、児童センター事業の周知に取り組むこと。
- ・地域と連携した事業を展開し、世代を超えた交流拠点としての役割に取り組むこと。
- ・美杉台児童館と更なる連携を図り、同じ指定管理者である利点を発揮した事業展開に取り組むこと。
- ・本市の財政状況が非常に厳しい状況にあることから、常に費用対効果を考え、より効率的な施設運営に取り組むこと。

令和6年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市高齢者福祉施設敬愛園	
施設所在地		飯能市大字芦荻場698番地3	
指定期間		令和 3 年度 ～ 令和 7 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		高齢者福祉の増進を図るため	
指定管理者	団体名	社会福祉法人名栗園	
	代表者	池田 徳幸	
	所在地	飯能市大字芦荻場805番地	
担当部課	部	福祉部	課 介護福祉課
	TEL	042-973-2111	内線 189
	E-mail	shien@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	職員体制について、入居者の生活に支障が生じないような勤務体制、定年後の再雇用にも取り組んでいる。緊急保護3名含む入所及び退所の業務を迅速かつ適切に対応された。施設内の保守点検や修繕について、利用者が安全に過ごせるよう適切な対応をいただいている。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	今年度は園庭でのバーベキューや紅葉見学など外出機会が増え、利用者のQOL増進を図ることができた。 また、利用者の健康管理については職員同士の情報共有を図り日々の体調変化を細かく考察している。
(3) 収支状況	A	配置基準以上の人員を配置しているが、定年再雇用の職員確保に取り組む、人件費の削減に努めている。 給食費は食材費の価格高騰により、当初予算よりも大幅に増加した。光熱費については、価格高騰する中で職員全員が節約意識を持ち、経費削減に取り組んでいる。
総 合 評 価	A	今年度も感染対策を徹底する中で、外出行事が増え、高齢者福祉の増進につながる施設運営に努めた。 また、緊急保護や措置入所など、支援を必要とする高齢者に対し、迅速かつ適切な対応をいただいた。

3 今後における業務改善の方向性

養護老人ホームの特性上、幅広い知識・経験を積んだ職員の対応が求められます。今後も定年再雇用制度等を利用して人員配置基準を満たす勤務体制を維持していただきたい。
 高齢化率の上昇に伴い、様々な事情を持つ高齢者の相談が増えることが予測されるため、緊急保護などの案件にも迅速に対応していただきたいと思います。
 施設の経年劣化に対応するため、日常的なメンテナンスや軽微な修繕をもとに施設の長寿命化に引き続き取り組んでください。

令和6年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		美杉台児童館	
施設所在地		飯能市美杉台一丁目2番地の1	
指定期間		令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的としている。	
指定管理者	団体名	社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会	
	代表者	会長 新井 重治	
	所在地	飯能市大字双柳371番地13	
担当部課	部	こども支援部	課 こども施設課
	TEL	042-973-2111	内線 415
	E-mail	kodomoshisetsu@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	・業務仕様書に定められた資格を有する者の人員配置がされ、責任者を中心とした管理執行体制を整えている。 ・複合施設であるため、他施設との合同防災訓練など相互連携により協力体制を推進することで、安心安全で効率的な施設管理に取り組んでいる。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	・利用者への丁寧な声掛けと目配りの行き届いた施設管理により、児童や保護者が安心して楽しく過ごせる居場所となっている。 ・小中学校や放課後児童クラブとの連携を図ることで、良好な施設利用環境を整えている。
(3) 収支状況	A	・節電や職員による修繕の実施などの工夫で、効率的に管理運営に継続して取り組んでいる。 ・複合施設であることから、他施設との連携を図り、効率的な施設運営に取り組んでいる。
総 合 評 価	A	・常に利用者の安心安全を第一に考え誠実に対応していることが良好な施設運営につながっている。 ・児童の居場所機能の向上などにより、利用者の増加に取り組んでいる。

3 今後における業務改善の方向性

・アンケートの実施等により利用者のニーズや実態の把握に努め、更なる児童の健全育成と子育て家庭への支援に向けた事業拡充を継続することで、サービスと利用者満足度の向上に努めること。 ・常に利用者目線に立ち、放課後児童や中高生、子育て中の保護者の安心できる身近な居場所づくりや利用環境の改善に引き続き取り組むこと。 ・子育て家庭や中高生、他の地域の児童に対し、多様な手段による児童館事業の周知に取り組むこと。 ・ボランティアや地域と連携した事業を展開し、児童の地域で継続した活動につながるように取り組むこと。 ・児童センターと更なる連携を図り、同じ指定管理者である利点を発揮した事業展開に取り組むこと。 ・本市の財政状況が非常に厳しい状況にあることから、常に費用対効果を考え、より効率的な施設運営に取り組むこと。
--

令和6年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		東吾野医療介護センター		
施設所在地		飯能市大字虎秀25番地の1		
指定期間		令和 5 年度 ～ 令和 7 年度 まで (3 年間)		
施設の設置目的		市民の健康保持に必要な医療及び介護サービスを提供するため。		
指定管理者	団体名	医療法人 靖和会		
	代表者	理事長 木川浩志		
	所在地	飯能市大字下加治137番地2		
担当部課	部	健康推進部	課	医療管理課
	TEL	978-5026	内線	117
	E-mail	iryo@city.hanno.lg.jp		

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	・業務分担や職員配置の見直し等を実施し、効率的な運営ができるよう取り組んでいる。 ・施設管理については日常的な点検のほかに、専門業者による保守点検を実施している。また、不具合発生時においても、迅速かつ適切な対応がされている。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	・利用者数については各部門ともに良好であったが、自主事業の実施や地域との関わりについては、やや不十分であった。 ・人材確保が難しい状況ではあるものの、利用者へのサービスが低下しないよう、工夫しながら柔軟に対応している。
(3) 収支状況	A	・利用料金収入のうち、老健入所と通所リハの各部門が指定管理者制度導入以降、過去最高額となった。 ・歳出については経費縮減に取り組んでいるものの、物価高騰による管理的経費や、人材確保にかかる経費の増加など、指定管理者の努力だけでは対応できない要因がある。
総 合 評 価	A	・利用料金収入については、高い水準をキープしており収入確保に繋がる様々な取組みの成果が表れている。 ・人材の確保及び職員体制の構築に課題はあるものの、全体的には良好な運営がされていた。

3 今後における業務改善の方向性

・通所リハの利用者が増加したように、外来、健診についても増加の余地があると考え。地域との積極的な関わりやPR等に努め、利用者増加に繋がる取組みを継続していくこと。 ・入院及び老健入所については、高い稼働率を維持しており、安定した収入を確保できる分野であるため、引き続きこの状況を維持できるよう努めていくこと。 ・米価をはじめとした物価高騰に伴う管理的経費の増加や、人材確保に係る経費（雑費）の増加など、外的要因による経費の増加がみられるが、引き続き効率的な運営と経費縮減に努めること。 ・人材確保が困難な状況が見受けられたが、利用者へのサービス提供は、施設運営において基本となる部分であることから、業務分担や体制の見直しなどを行い、「質の高いサービス」が常に提供できるよう努めていくこと。

令和6年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市都市公園（阿須運動公園、美杉台公園及び岩沢運動公園）	
施設所在地		飯能市大字阿須地内、美杉台一丁目地内、大字岩沢地内	
指定期間		令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		都市公園は都市における緑とオープンスペースを形成し、良好な都市環境を提供して、中心市街地等のにぎわいの場、あるいは地域の自然的資源を観光振興として活用される。子供からお年寄りまでの幅広い年齢層が、自然とのふれあい、レクリエーション活動、健康運動、文化活動等多様な活動の拠点として、地域間の交流・連携の場として利用している。	
指定管理者	団体名	飯能市都市公園運動施設管理運営共同事業体	
	代表者	特定非営利活動法人飯能市スポーツ協会 会長 岡部素明	
	所在地	飯能市大字阿須812番地3	
担当部課	部	建設部	課 維持公園課
	TEL	042-973-2127(直通)	内線 241
	E-mail	ijikoen@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	今年度は指定管理の更新を行い、維持、管理体制を開始して1年目の年であり、管理責任者の配置及び人員の体制等、概ね良好に業務を遂行できたと評価します。危機管理体制については修繕作業を実施し、迅速な対応で対処できていることから、管理責任能力が高いと評価します。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	年度当初から樹木剪定、除草作業の植栽管理を積極的に実施し、公園美化に対する意識は高く評価できます。また、修繕及び清掃等への対応も早く、公園利用者に対するイメージアップ等に寄与できていると評価します。
(3) 収支状況	A	期待通りであり評価します。
総 合 評 価	A	年度当初より計画的に業務を遂行できおり、植栽管理等の公園美化に対する意識について高く評価できます。また、迅速な対応で修繕作業を実施していることから、危機管理体制の能力が高いと評価できます。

3 今後における業務改善の方向性

民間事業者を強みに、公園利用者の増加につながるアイデアをもっているため、自主事業による自主財源のさらなる確保を実施してもらいたい。

令和6年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市都市公園運動施設		
施設所在地		飯能市大字阿須812番地3 他		
指定期間		令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで （ 5 年間 ）		
施設の設置目的		市民の健康の保持・増進、体力の向上、生きがいづくり、人と人との交流や地域の連帯感、活力あるまちづくりに向けて、市民の誰もが、いつでもスポーツ・レクリエーション活動を行えるように、生涯スポーツの振興を図ることを目的としている。		
指定管理者	団体名	飯能市都市公園運動施設管理運営共同事業体 代表団体 特定非営利活動法人飯能市		
	代表者	会長 関口 正博		
	所在地	飯能市大字阿須812番地3		
担当部課	部	教育部	課	スポーツ課
	TEL	042-972-6028(直通)	内線	741
	E-mail	taiiku@city.hanno.lg.jp		

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	今年度は、都市公園運動施設の管理・運営業務を開始した初年度であり、業務仕様書に基づいた人員の配置等について適正に行われた。 また、施設及び設備の老朽化が進む状況においても、日常的な保守点検や修繕、清掃により施設等の維持に努めている。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	利用者への親切・丁寧な窓口対応等を心がけるとともに、独自のホームページの活用により、利用者への情報提供を積極的に行っている。
(3) 収支状況	A	収支ともに適正であると評価する。
総 合 評 価	A	都市公園運動施設の管理・運営については、利用者が安全で安心して利用できるよう、積極的な取組がされている。 今後も、利用者への親切・丁寧な窓口対応等を心がけ、利用者との良好な関係を築くことを期待する。

3 今後における業務改善の方向性

- ・今後も年間の修繕計画等を策定し、施設の保守点検や修繕等を計画的かつ着実に実施し、施設の安全な管理・運営を行うこと。
- ・常に利用者のニーズを的確に捉え、利用者目線に立った質の高いサービスの提供に努めること。
- ・引き続き、市と施設や利用者等の状況について情報共有を図りながら、業務を遂行すること。